

# 提 案 概 要

(北九州市立戸畑図書館 指定管理者)

団体名： 株式会社 日本施設協会

## 1 指定管理者としての適性について

<p>(1) 公立図書館の管理運営に対する基本的考え方 (理念・基本方針)</p>
<p>わたしたちは「人と人、情報と情報を“つなぎ続ける図書館”」を基本コンセプトに、図書館の基本的あり方を踏まえ、地域と連携しながら、サービスの充実を図ります。</p> <p>そのために「これからの図書館サービスのあり方について」(平成 28 年 7 月 北九州市立図書館協議会答申)に沿い、その実現に努めます。北九州市立図書館がめざす 3 つの方向性 (①これまでの図書館サービスをさらに充実させる。②市民が抱える課題の解決を支援する。③子どもの読書活動を積極的に推進していく。)を踏まえ、これらを担う図書館職員や地域の人材の能力向上を図ります。また、5 つの視点 (①多様な施設とつながる図書館 ②市民の課題解決を支援する図書館 ③子どもの読書活動を積極的に推進する図書館 ④誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館 ⑤市民参画型図書館) から、具体的な事業を実施してまいります。</p> <p>また、令和元年に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)や、北九州市子ども読書プラン (第 4 次北九州市子ども読書活動推進計画) に沿って、国全体、市全体の活動に寄与することを基本方針とします。</p>
<p>(2) 安定的な人的・財政基盤</p>
<p>当社が受託中の北九州市立図書館全体の司書資格保有率は 84.1%に上り、また 100 人以上(令和 4 年 8 月 4 日現在)の図書館司書有資格者、専門性の高い業務経験者を有して、人材の連携・融通を行い、常に高い水準のサービスを安定して提供することが可能です。</p> <p>また、当社は「北九州 SDGs 登録制度」の登録事業者であり、目標 5「ジェンダー平等を実現しよう」において、女性の従業員比率向上を実施しており、近年では有資格者の中から、館長・次長といった管理職への登用も積極的に行っております。</p> <p>財政基盤においても、多くの業務委託、指定管理、PFI 事業の運営を担い、過去いずれの決算期においても安定した収支で運営を行っています。</p> <p>また、弊社発行の寄付/SDGs 認証支援型「新型コロナ対策支援 私募債『感謝のココロ』」について、西日本シティ銀行が引き受けを行うなど、財務内容の優良性が証明されております。本私募債は新型コロナウイルス感染症対策基金等に発行額に応じ寄付をするもので、寄付を通じて地域医療の維持・強化に貢献しております。</p> <p>戸畑図書館では、平成 17 年度以降、当社が継続して受託し、長期にわたって安定的な運営を継続してきた実績があります。</p>
<p>(3) 管理運営実績や専門的な知識を有する</p>
<p>当社は平成 17 年度の北九州市立図書館への指定管理者制度の導入から 17 年間、継続して安定運営しており、北九州市立中央図書館における窓口業務や図書装備、納入業務など、カウンター業務から裏方作業まで図書館運営に精通しているのが強みです。また北九州パレスや北九州スタジアムなど複数の施設も受託中であり、様々な施設の運営・維持管理の実績も豊富です。これら施設の管理職、職員は定期的に交流、また情報共有し、多様な運営ノウハウを日々積み重ねています。</p> <p>戸畑図書館は司書資格保有者 15 名、司書資格保有率 88.2% (令和 4 年 8 月 4 日現在) の高い専門性をもって現在も管理運営中であり、日々の業務による実績を積み重ね、研修等によるさらに高いサービスの提供を目指します。</p>

## 2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取り組み
<p>(1) 施設の設置目的の達成に関する取り組み</p> <p>以下の5つの視点から具体的な事業を実施していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 多様な施設とつながる図書館 近隣の北九州市立美術館をはじめ、市民センター、学校、幼稚園、保育園、ボランティア、郷土史会等と連携することで地域情報のハブとなる図書館づくりに取り組みます。</li><li>2. 市民の課題解決を支援する図書館 あらゆる機会を捉えて市民ニーズの把握に努め、適正な蔵書管理、レファレンスサービスの一層の充実や収集・除籍・保存といった基本業務を的確に行うことで、市民が気軽に疑問や課題を調べることができる拠点づくりを行います。</li><li>3. 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館 令和2年度策定の「北九州市子ども読書プラン」に沿い、読み聞かせ会や工作会の実施、工夫された特別設置コーナーを通じて子どもの「本への興味」を醸成し、「家読（うちどく）」活動を進めるほか、周産期の母親や家庭を対象とした読み聞かせ講座も実施します。また学校図書館職員との連携などを通じ、「調べ学習」や図書館を活用した授業支援を行います。</li><li>4. 誰もが使いやすく、人と情報が交流する図書館 人と人をつなげ、地域コミュニティの核となる図書館づくりを目指します。そのために接遇向上を徹底し、読書バリアフリー法の理念に則って障がいをもつ方も使いやすい図書館サービスを追求するほか、文化・観光情報の提供を通じ、地域情報が集う図書館を実現します。</li><li>5. 市民参画型図書館 「意見・要望箱」を設置して市民からのご意見等を図書館運営に生かします。また、利用者による文芸作品、連携する学校の生徒による制作物の展示等を通じて潜在的なニーズの把握につなげつつ、「垣根の低い図書館」「親しめる図書館」づくりを進めてまいります。 現在、戸畑図書館では、特別支援学校「北九州中央高等学園」の職場体験学習の受入れ、生徒たちが作った作品の展示など、同校との連携強化を進めており、障がいを抱えた生徒たちの育成や就業支援を図っております。そして九州工業大学・北九州市立美術館・北九州市立文学館等との連携をさらに深め、「文教地区・戸畑」の中心施設としての役割を、これからも担ってまいります。</li></ol>
<p>(2) 利用者の満足度</p> <p>利用者満足度の向上には窓口職員の資質が重要です。接遇や個人情報保護、危機管理のほか郷土資料やレファレンスなど専門研修に積極参加して人材育成を図り、サービス向上を図ります。意見・苦情については迅速・真摯に対応し、施設・設備やサービス面での利用者からの要望は北九州市立中央図書館とも相談しサービス向上に努めてまいります。なお、直近4年間の戸畑図書館の利用者アンケートによると「対応の親切さ」で平均96%が「満足」との結果が出ており、質の高いサービスを提供できています。</p>
【効率性】に関する取り組み
<p>(1) 指定管理業務に係る経費について</p> <p>基本的な運営部分以外の清掃、警備、保守点検、維持管理などは必要に応じて外部委託します。利用者の安全・安心と快適性を第一に考え、サービスや安全確保に直結する経費の削減は慎重に行います。事務作業等バックヤードに関する経費は絶えずスリム化を図り、費用対効果の高い運営を工夫していきます。</p>
<p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</p> <p>当社が有する様々な施設での運営実績から、適正なスタッフ体制、配置はもとより、適正な収支計画と外部委託を実施することが可能な計画となっています。前述の通り、効率性を念頭に置きつつ、提供するサービスの質や安全性も考慮した適切な経費削減に努めます。 今までの戸畑図書館の運営実績、また、運営する他館の実績を参考に適正な収支計画を作成致します。実績に基づく計画ですので実現可能性は高いと思われれます。</p>

**【適正性】に関する取り組み**

**(1) 管理運営体制など**

有事に即応できるよう本社、各施設で迅速適切に情報共有する管理運営体制を構築します。運営スタッフの9割近くは司書有資格者で、大部分が5年以上の図書館業務経験者ですが、さらに資質向上を図り、個人情報並びに危機管理等の研修に積極参加、また実施します。

館長は図書館運営の総括責任者として危機管理をはじめ、あらゆる事態の責任者として対応し、館長不在時は次長が代行します。開館中は館長・次長のうち必ず1名が常駐します

**(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など**

当社は財団法人日本情報処理開発協会認定の「プライバシーマーク」を取得しております。個人情報の適切な取り扱いを行い、差別や偏りのない対応と運営を行います。特定の団体・個人が利用に際して有利・不利とならないよう、また、高齢者や障がい者の方の利用が妨げられないよう合理的に配慮し、公正な運営に努めます。安全・防災対策については、日常点検を密にし、緊急時に迅速かつ適切な行動を行えるよう「北九州市地域防災計画」の把握に努め、「危機管理マニュアル」に基づき対策を徹底します。危機管理体制については、緊急事態発生時は「緊急連絡網」により本社や職員及び中央図書館等の関係各部署と迅速・正確に情報共有できる体制を確保します。

提案額（千円） [千円未満切上げ]

5年度	74,298千円
6年度	74,298千円
7年度	74,298千円
8年度	74,298千円
9年度	74,298千円（※門司図書館はR9年度の記載は不要）

※ 提案概要は、提案書の内容を2枚程度（A4）にまとめてください。